

Ⅶ その他 2 人事に関する計画

中期計画	年度計画	実績
<p>(1) 教育研究の充実を図るため、戦略的な教員配置を推進する。</p> <p>(2) 教育研究の持続ある発展を図るため、優れた人材を確保する方策を実施する。</p> <p>(3) 教職員の資質向上を図るため、研修をより充実する。</p> <p>(4) 教職員の活動意欲の向上を図るため、職員の適正な人事評価を行い、給与等の処遇に反映する。</p> <p>(参考) 中期目標期間中の人件費総額の見込み 28,610 百万円 (退職手当は除く)</p>	<p>(1) 総人件費を抑制しつつ、教育研究及びその他の業務を更に充実するため、戦略的な人員配置を推進する。</p> <p>(2) 「男女共同参画に向けた取組み」を順次実行する。また、同取組みの充実を図る。</p> <p>(3) 学内の研修プログラムの充実を図りつつ、計画的に研修を実施する。また、新たな海外研究派遣制度を導入し、中堅・若手教員の研究力の向上を図る。</p> <p>(4) 教職員の活動意欲の向上を図るため、人事評価の改善を図りつつ適正に実施し、給与等の処遇に反映する。</p> <p>(参考1) 平成 26 年度の常勤職員数 467 人 また、任期付き職員数の見込みを 46 人とする。</p> <p>(参考2) 平成 26 年度の人件費総額見込み 4,742 百万円 (退職手当は除く)</p>	<p>(1) イノベーション機能強化・組織活性化のための教員職位比率改革を実施するため、「京都工芸繊維大学 教員配置の基本方針」を策定した。</p> <p>(2) 卓越した若手研究者集団形成のためのプログラム「梅檀 (SENDAN) プログラム」として、女性限定の国際公募 (公募人員 8 名) を行い、7 名を年俸制のテニュアトラック教員として採用した。 新たに、中高生への理系進路選択推進事業として、「KIT サイエンスガール 1 日体験講座」を開催した。また、平成 24 年度に選定された科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」として、以下のことを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産・育児・介護等により教育研究活動に支障を来し、支援を必要とする教員 (延べ 24 名) に研究支援員を配置した。 ・女性教職員の交流を深めるため、ランチミーティングや女性の健康ミニ講座等を実施した。 ・例年のセミナーに加え、支援事業等の一層の推進のためにトップセミナー、「女性研究者研究活動支援事業」の総括セミナーを開催し、センターのホームページやニュースレターで情報発信を行った。 <p>(3) 職員の自己研鑽のため、放送大学の科目履修に対する補助を実施し、計 13 名が受講した。 また、若手教員海外研究派遣制度に基づき、昨年度から引き続き、若手教員 1 名を派遣した。</p> <p>(4) 平成 26 年度の勤勉手当 (6 月期・12 月期) 及び平成 27 年 1 月 1 日昇給において、評価実施要領に基づき評価を実施し、成績率に反映した。</p> <p>(実績1) 平成 26 年度の常勤職員数 457 人 うち任期付き職員数 47 人</p> <p>(実績2) 平成 26 年度の人件費総額 4,631 百万円 (退職手当は除く)</p>